

【山崎名誉主宰の俳句】

無聊

山崎 聰

明日が見えるはずもなくももさくら
これからを思えばさびし花のあと
さくら散り鳥啼き海山暮れはじむ
青葉木菟ひとこえ鳴いて無聊なり
海山のあわいに光みどりの日
東京は朝から晴れて梅雨の入り
青葉騒ひそひそといる彼彼女
五月の雨郵便局を過ぎてすこし
ふたつみつ青梅ころげああ無情
彼彼女そしてわれらに夏来たる